

ク. 標準数量表 (T形)

φ75 (矢板なし)

(1箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.39			-
管路掘削工		m3	0.53	0.43	0.44	0.45
管路埋戻工	改良土	m3	0.33	0.34	0.43	0.41
残土処分工		m3	0.33	0.34	0.40	0.45
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.04	0.03	0.01	-
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.20	0.08	0.04	-
一次本復旧工		m2	0.39			-
離脱防止金具取付工 (材工共)	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

φ75 (矢板あり)

(1箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.60			-
管路掘削工		m3	0.94	0.95	0.98	0.99
管路埋戻工	改良土	m3	0.63	0.82	0.95	0.93
残土処分工		m3	0.63	0.82	0.91	0.99
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.06	0.05	0.02	-
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.30	0.12	0.06	-
一次本復旧工		m2	0.60			-
離脱防止金具取付工 (材工共)	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1			
矢板工 (設置・撤去)	掘削幅 B≤0.9	m	3.10			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

φ100 (矢板なし)

(1箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.39			-
管路掘削工		m3	0.52	0.42	0.43	0.44
管路埋戻工	改良土	m3	0.32	0.33	0.42	0.40
残土処分工		m3	0.32	0.33	0.39	0.44
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.04	0.03	0.01	-
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.20	0.08	0.04	-
一次本復旧工		m2	0.39			-
離脱防止金具取付工 (材工共)	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

φ100 (矢板あり)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.60			-
管路掘削工		m3	0.93	0.94	0.97	0.98
管路埋戻工	改良土	m3	0.62	0.81	0.94	0.92
残土処分工		m3	0.62	0.81	0.90	0.98
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.06	0.05	0.02	-
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.30	0.12	0.06	-
一次本復旧工		m2	0.60			-
離脱防止金具取付工 (材工共)	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1			
矢板工 (設置・撤去)	掘削幅 B≤0.9	m	3.10			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

φ150 (矢板なし)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.39			-
管路掘削工		m3	0.51	0.41	0.42	0.43
管路埋戻工	改良土	m3	0.31	0.32	0.41	0.39
残土処分工		m3	0.31	0.32	0.38	0.43
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.04	0.03	0.01	-
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.20	0.08	0.04	-
一次本復旧工		m2	0.39			-
離脱防止金具取付工 (材工共)	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

φ150 (矢板あり)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.60			-
管路掘削工		m3	0.92	0.93	0.96	0.97
管路埋戻工	改良土	m3	0.61	0.80	0.93	0.91
残土処分工		m3	0.61	0.80	0.89	0.97
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.06	0.05	0.02	-
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.30	0.12	0.06	-
一次本復旧工		m2	0.60			-
離脱防止金具取付工 (材工共)	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1			
矢板工 (設置・撤去)	掘削幅 B≤0.9	m	3.10			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

φ 200 (矢板なし)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.39			-
管路掘削工		m3	0.50	0.40	0.41	0.42
管路埋戻工	改良土	m3	0.30	0.31	0.40	0.38
残土処分工		m3	0.30	0.31	0.37	0.42
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.04	0.03	0.01	-
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.20	0.08	0.04	-
一次本復旧工		m2	0.39			-
離脱防止金具取付工 (材工共)	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

φ 200 (矢板あり)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.60			-
管路掘削工		m3	0.91	0.92	0.95	0.96
管路埋戻工	改良土	m3	0.60	0.79	0.92	0.90
残土処分工		m3	0.60	0.79	0.88	0.96
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.06	0.05	0.02	-
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.30	0.12	0.06	-
一次本復旧工		m2	0.60			-
離脱防止金具取付工 (材工共)	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1			
矢板工 (設置・撤去)	掘削幅 B ≤ 0.9	m	3.10			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

ケ. 離脱防止金具取付歩掛表

(1 箇所当り)

口径 (mm)	配管工 (人)	普通作業員 (人)	諸雑費
75	0.02	—	労務費の1%
100			
150			
200			
300			

(7) 洗淨排水工 (材工共)

ア. 本工種は、φ 300以下の新設布設管の洗淨排水に必要となる排水管の設置・撤去に適用する。

イ. 既設舗装構造は、A08-20又は、砂利道 (0-10) の2区分とし、一次本復旧時における舗装構造は、それぞれ05-23型工、及び0-10型工とする。

ウ. バックホウの機種は、山積0.13m<sup>3</sup>とする。

エ. 管材料は請負者調達とし、償却回数は管類60回、継手類は30回とする。

オ. 標準数量表

(1箇所当り)

工種	形質寸法	単位	φ 75～φ 150		φ 200～φ 300	
			A08-20	砂利道	A08-20	砂利道
舗装切断工	As t=15 c m以下	m	10.80	—	10.80	—
舗装版直接掘削・積込工	As t=10 c m以下	m <sup>2</sup>	5.94	—	7.02	—
管路掘削工		m <sup>3</sup>	5.02	5.41	6.07	6.53
管路埋戻工	改良土	m <sup>3</sup>	2.02	2.51	2.43	3.05
管路埋戻工	流用土	m <sup>3</sup>	1.84	2.67	2.26	3.25
残土処分工		m <sup>3</sup>	2.00	2.79	2.41	3.37
管布設工	φ 200	m	—	—	0.56	0.56
管布設工	φ 100	m	—	—	5.15	5.15
管布設工	φ 75	m	5.71	5.71	—	—
管撤去工	φ 200	m	—	—	0.56	0.56
管撤去工	φ 100	m	—	—	5.15	5.15
管撤去工	φ 75	m	5.71	5.71	—	—
市道仮復旧工		m <sup>2</sup>	2.97	—	3.51	—
一次本復旧工	05-23	m <sup>2</sup>	2.97	—	3.51	—
舗装残滓等処分工	アスファルト殻	m <sup>3</sup>	0.39	—	0.46	—
舗装残滓等処分工	路盤廢材	m <sup>3</sup>	1.18	—	1.40	—
管材料	直管 φ 100(75)	k g	1.18	1.18	1.33	1.33
管材料	異形管 φ 200	k g	—	—	0.50	0.50
管材料	異形管 φ 100	k g	—	—	1.40	1.40
管材料	異形管 φ 75	k g	1.10	1.10	—	—
管材料	仕切弁 φ 100(75)	個	0.02	0.02	0.02	0.02
管材料	継手材 K s φ 200	組	—	—	0.03	0.03
管材料	継手材 K s φ 100(75)	組	0.20	0.20	0.20	0.20
管材料	継手材 F φ 100(75)	組	0.07	0.07	0.07	0.07

(注) 形質寸法欄の ( ) 内は φ 75～φ 150の場合を示す。

(8) フランジ栓止工 (材工共)

ア. 管継手工、継手離脱工

継手形式については、F形継手工 (F形継手離脱工) 1箇所とする。

イ. 弁室類築造工

制水弁室の据付・撤去を1箇所とする。

ウ. 標準数量表

(1箇所当り)

工種/資材名称	単位	数量					備考
		φ75	φ100	φ150	φ200	φ300	
F形継手工	箇所	1	1	1	1	1	
F形継手離脱工	箇所	1	1	1	1	1	
弁室類築造工 (据付・撤去)	箇所	1	1	1	1	1	在来品使用 <sup>※3</sup>
DフランジふたGF形	個	1	1	1	1	1	
GFガスケット	枚	1	1	1	1	1	
T頭ボルトナット フランジ用異形 フッソ加工 <sup>※1</sup>	本	4	4	6	8	-	
Dフランジボルトナット フッソ加工 <sup>※2</sup>	本	-	-	-	-	10	

※1 : M16×75とする。

※2 : M20×85とする。

※3 : 新品使用とする場合は、弁室材料を別途計上する。

(9) 仮栓止工 (材工共)

ア. 管継手工

継手形式については、K形継手工1箇所、KS形継手工1箇所とする。

イ. 人力木杭打工

木杭の使用本数、木杭末口、根入れ深さ、木杭長さについては、次表を標準とする。

配水管口径 (mm)	使用本数 (本)	木杭末口 (cm)	根入れ深さ (m)	木杭長さ (m)
75	1	6	1.0	1.2
100	1	9	1.0	1.2
150	1	12	1.3	1.8
200	1	15	1.6	1.8
300	2	15	1.6	1.8

ウ. 標準数量表

(1 箇所当り)

工種／資材名称	単位	数量					備考
		φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 300	
K形継手工	箇所	1	1	1	1	1	
K S形継手工	箇所	1	1	1	1	1	
人力木杭打工	本	1	1	1	1	2	
D K継輪	個	1	1	1	1	1	3 回償却
D K栓	個	1	1	1	1	1	3 回償却
K離脱防止押輪	個	1	1	1	1	1	3 回償却
T頭ボルトナット (K・KF型用) ※	本	8	8	12	12	16	3 回償却
Kゴム輪	個	2	2	2	2	2	

※ φ 75 : M16×85、φ 100・φ 150・φ 200 : M20×100、φ 300 : M20×110とする。

(注) 備考欄に3回償却の記載がある資材の適用単価は、基礎単価の1/3とする。

(1 0) 仮フランジ栓止工 (材工共)

ア. 管継手工

継手工形式については、F形継手工1箇所とする。

イ. 人力木杭打工

木杭の使用本数、木杭末口、根入れ深さ、木杭長さについては、「(9) 仮栓止工 (材工共) イ. 人力木杭打工」の表によるものとする。

ウ. 標準数量表

(1 箇所当り)

工種／資材名称	単位	数量					備考
		φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 300	
F形継手工	箇所	1	1	1	1	1	
人力木杭打工	本	1	1	1	1	2	
DフランジふたGF形	個	1	1	1	1	1	3 回償却
GFガスケット	枚	1	1	1	1	1	
T頭ボルトナット フランジ用異形※1	本	4	4	6	8	-	3 回償却
Dフランジボルトナット フッソ加工※2	本	-	-	-	-	10	3 回償却

※ 1 : M16×75とする。

※ 2 : M20×85とする。

(注) 備考欄に3回償却の記載がある資材の適用単価は、基礎単価の1/3とする。

(11) 仮排水（消火）栓止工（材工共）

ア. 管継手工

継手形式については、K形継手工1箇所、KS形継手工2箇所とする。

イ. 人力木杭打工

木杭の使用本数、木杭末口、根入れ深さ、木杭長さについては、「(9)仮栓止工（材工共）イ. 人力木杭打工」の表によるものとする。

ウ. 標準数量表

(1箇所当り)

名称	形質寸法	単位	数量				
			φ75	φ100	φ150	φ200	φ300
K形継手工		箇所	1	1	1	1	1
KS形継手工		箇所	2	2	2	2	2
人力木杭打工		本	1	1	1	1	2
消火栓設置工	設置	箇所	1	1	1	1	1
F形継手工		箇所	1	1	1	1	1
弁室類築造工	設置	箇所	1	1	1	1	1
管据付工(小運搬含む)		m	0.6	0.7	0.7	0.7	0.7
管撤去工(管切断 小運搬含む)		m	0.6	0.7	0.7	0.7	0.7
仮排水(消火)栓止材料		式	1	1	1	1	1

エ. 標準材料表

(ア) 仮排水栓

(1箇所当り)

資材名称	単位	数量				
		φ75	φ100	φ150	φ200	φ300
DK継輪	個	1	1	1	1	1
DK栓	個	1	1	1	1	1
K離脱防止押輪	個	2	2	2	2	2
T頭ボルトナット (K・KF形用) <sup>※1</sup>	本	12	12	18	18	24
Kゴム輪	個	3	3	3	3	3
DKフランジ付きT字管GF形	個	1	1	1	1	1
消火栓	個	1				
DKフランジ短管 RF・GF形	個	1				
T頭ボルトナットフランジ用異形 <sup>※2</sup>	本	8				
GFガスケット	個	2				
排水栓鉄蓋	個	1				
調整リング	個	2				
レジンコンクリート上部壁(A)	個	1				
レジンコンクリート下部壁(C)	個	1				
レジンコンクリート底版(P)	個	1				

※1：φ75：M16×85、φ100・φ150・φ200：M20×100、φ300：M20×110とする。

※2：φ75～φ300：M16×75とする。

(注)・弁室類築造使用材料については、「土木工事共通仕様書（標準図集）」参照

・Kゴム輪・GFガスケット以外については3回償却とし、基礎単価の1/3とする。

## (イ)仮消火栓

(1箇所当り)

資材名称	単位	数量				
		φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 300
DK継輪	個	1	1	1	1	1
DK栓	個	1	1	1	1	1
K離脱防止押輪	個	2	2	2	2	2
T頭ボルトナット (K・KF形用) ※1	本	12	12	18	18	24
Kゴム輪	個	3	3	3	3	3
DKフランジ付きT字管GF形	個	1	1	1	1	1
消火栓	個	1				
DKフランジ短管 RF・GF形	個	1				
T頭ボルトナットフランジ用異形※2	本	8				
GFガスケット	個	2				
円形消火栓鉄蓋(単口)本体	枚	1				
円形消火栓鉄蓋(単口)ボルトナット	組	1				
調整リング	個	2				
レジンコンクリート上部壁(A)	個	1				
レジンコンクリート下部壁(C)	個	1				
レジンコンクリート底版(P)	個	1				

※1 : φ 75 : M16×85、φ 100・φ 150・φ 200 : M20×100、φ 300 : M20×110とする。

※2 : φ 75～φ 300 : M16×75とする。

(注)・弁室類築造使用材料については、「土木工事共通仕様書(標準図集)参照」。

・Kゴム輪・GFガスケット以外については3回償却とし、基礎単価の1/3とする。

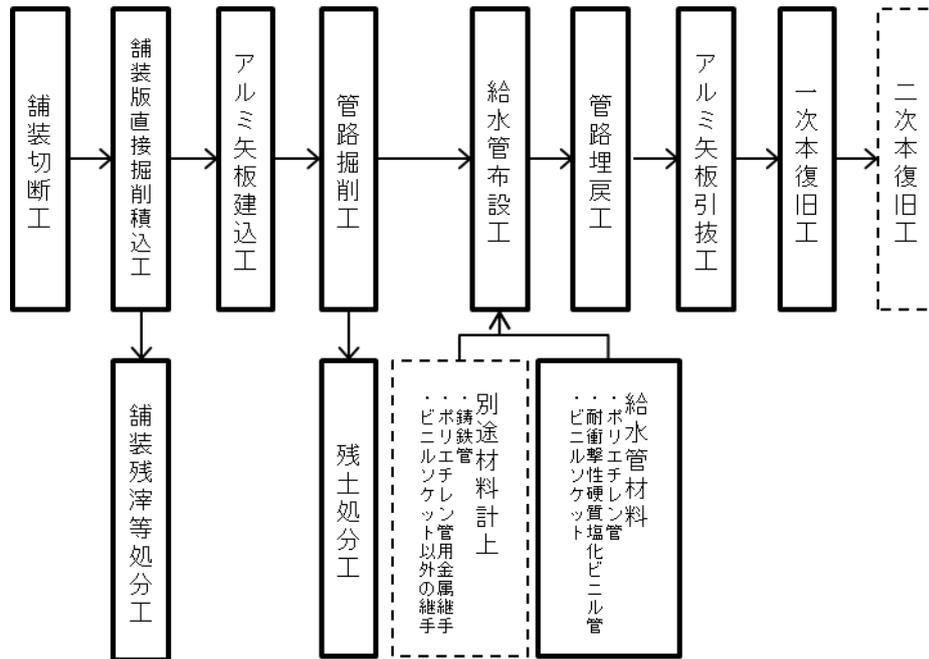
## (12)給水管布設工(道路部)

ア. 給水管材料について、ビニル管材料、ポリエチレン管(管のみ)については、工種に包含するものとし、ポリエチレン管用金属継手、鋳鉄管等の金属製材料については別途計上するものとする。

イ. 矢板工の計上が必要となる場合は、アルミ矢板、矢板長2.0m、支保工1段を標準とする。

ウ. 埋戻工は、改良土使用を標準とする。

エ. 施工フローは、下記を標準とする。



(注)・本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。  
 ・その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

オ. 標準数量表 (ビニル管、ポリエチレン管・矢板なし)

(10m当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	20.00			—
舗装版直接掘削・積込工		m <sup>2</sup>	5.50			—
管路掘削工		m <sup>3</sup>	4.62	3.08	3.36	3.52
管路埋戻工	改良土	m <sup>3</sup>	1.87	1.98	3.08	3.52
残土処分工		m <sup>3</sup>	1.87	1.98	2.80	3.52
舗装残滓等処分工	アスファルト	m <sup>3</sup>	0.55	0.44	0.17	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m <sup>3</sup>	2.75	1.10	0.55	—
一次本復旧工		m <sup>2</sup>	5.50			—
給水管布設工	ビニル管/ポリエチレン管	m	10.00			—
給水管材料		m	10.00			—

カ. 標準数量表 (ビニル管、ポリエチレン管・矢板あり)

(10m当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	20.00			—
舗装版直接掘削・積込工		m <sup>2</sup>	8.50			—
管路掘削工		m <sup>3</sup>	11.90	12.07	12.50	12.75
管路埋戻工	改良土	m <sup>3</sup>	7.65	10.37	12.07	12.75
残土処分工		m <sup>3</sup>	7.65	10.37	11.64	12.75
舗装残滓等処分工	アスファルト	m <sup>3</sup>	0.85	0.68	0.26	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m <sup>3</sup>	4.25	1.70	0.85	—
矢板工 (設置・撤去)	掘削幅 B ≤ 0.9	m	20.00			
一次本復旧工		m <sup>2</sup>	8.50			—
給水管布設工	ビニル管/ポリエチレン管	m	10.00			
給水管材料		m	10.00			

キ. 標準数量表 (鋳鉄管・矢板なし)

(10m当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	20.00			—
舗装版直接掘削・積込工		m <sup>2</sup>	5.50			—
管路掘削工		m <sup>3</sup>	4.90	3.36	3.63	3.80
管路埋戻工	改良土	m <sup>3</sup>	2.08	2.19	3.29	3.77
残土処分工		m <sup>3</sup>	2.15	2.26	3.08	3.80
舗装残滓等処分工	アスファルト	m <sup>3</sup>	0.55	0.44	0.17	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m <sup>3</sup>	2.75	1.10	0.55	—
一次本復旧工		m <sup>2</sup>	5.50			—
給水管布設工	鋳鉄管	m	10.00			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	10.00			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	10.00			

ク. 標準数量表 (铸铁管・矢板あり)

(10m当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	20.00			—
舗装版直接掘削・積込工		m <sup>2</sup>	8.50			—
管路掘削工		m <sup>3</sup>	11.90	12.07	12.50	12.75
管路埋戻工	改良土	m <sup>3</sup>	7.59	10.31	12.01	12.72
残土処分工		m <sup>3</sup>	7.65	10.37	11.64	12.75
舗装残滓等処分工	アスファルト	m <sup>3</sup>	0.85	0.68	0.26	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m <sup>3</sup>	4.25	1.70	0.85	—
矢板工 (設置・撤去)	掘削幅 B ≤ 0.9	m	20.00			
一次本復旧工		m <sup>2</sup>	8.50			—
給水管布設工	铸铁管	m	10.00			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	10.00			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	10.00			

ケ. 給水管布設工 (ビニル管)

(10m当り)

工種名称	単位	φ13	φ25	φ40	φ50	φ75
硬質塩化ビニル管布設 据付工	m	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
硬質塩化ビニル管布設 TS継手工	箇所	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
硬質塩化ビニル管切断工	口	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00

(注) TS継手工2箇所につき、1口計上する。

コ. 給水管布設工 (ポリエチレン管)

(10m当り)

工種名称	単位	φ25	φ40	φ50
ポリエチレン管布設工 据付工	m	10.00	10.00	10.00
ポリエチレン管布設工 継手工	口	10.00	10.00	10.00
ポリエチレン管切断工	口	10.00	10.00	10.00

サ. 給水管布設工 (铸铁管)

(10m当り)

工種名称	単位	φ75	φ100	φ150	φ200
管据付工	m	10.00	10.00	10.00	10.00
管継手工 (K形継手)	箇所	6.60	6.60	5.20	5.20
管切断工 (管切断のみ)	箇所	0.90	0.90	1.00	1.00

シ. 標準材料表

(1m当り)

ビニル管	耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 : 1m HIビニルソケット : 1個
ポリエチレン管	ポリエチレン管I種 : 1m

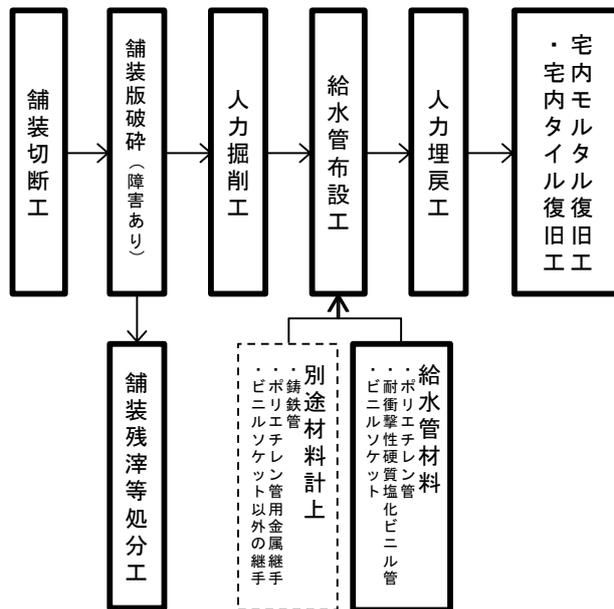
(参考) 止水栓設置工【接合替】

(1箇所当り)

工種名称	形質寸法	単位	数量	備考
止水栓取付け工	ビニル管・ポリエチレン管	箇所	1	
止水栓材料		式	1	必要数を計上
継手材料	ビニル管／ポリエチレン管	式	1	必要数を計上

(13) 給水管布設工 (宅内)

- ア. 宅内舗装は、アスファルト、コンクリート、モルタル、一般タイル、モザイクタイル、未舗装の6区分に分類し、原形復旧を標準とする。舗装厚は、モルタルについては3cm、アスファルト、コンクリート、タイル系については5cmを標準とする。
- イ. タイル系舗装については、舗装切断工・舗装残滓等処分工の適用にあたっては、コンクリート系とする。
- ウ. 工種に包含する材料については、給水管布設工 (道路部) に準ずる。
- エ. 埋戻工は、流用土使用を標準とする。
- オ. 施工フローは、下記を標準とする。



- (注) ・本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。  
 ・その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

## カ. 標準数量表

(10m当り)

工種	形質寸法	単位	数量		
			As/Co/タイル系	モルタル	未舗装
舗装切断工	アスファルト/コンクリート	m	20.00		—
舗装版破碎	アスファルト障害あり	m <sup>2</sup>	3.00		—
人力掘削工		m <sup>3</sup>	0.87	0.93	1.02
人力埋戻工	流用土	m <sup>3</sup>	0.87	0.93	1.02
舗装残滓等処分工	アスファルト/コンクリート	m <sup>3</sup>	0.15	0.09	—
給水管布設工	ビニル管/ポリエチレン管	m <sup>3</sup>	10.00		
給水管材料		m	10.00		
宅内モルタル復旧工 /宅内タイル復旧工		m <sup>2</sup>	3.00		—

## キ. 宅内モルタル復旧工 歩掛表

(1m<sup>2</sup>当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
モルタル練	配合比1:3(高炉)	m <sup>3</sup>	0.03	
モルタル上塗	床面	m <sup>2</sup>	1.0	
諸雑費	端数処理	式	1.0	

## ク. 宅内タイル復旧工 歩掛表

(1m<sup>2</sup>当り)

名称	規格	単位	数量		摘要
			一般タイル	モザイクタイル	
床タイル	100mm角/磁器質	枚	102	—	(a)
モザイクユニット タイル	50mm角/磁器質 300×300	シート	—	11.5	(b)
セメント	普通	kg	3.0	4.0	
細骨材	砂(洗い)	m <sup>3</sup>	0.004	0.003	
タイル工		人	0.22	0.19	(c)
普通作業員		人	0.09	0.07	(d)
床モルタル塗り	木ごと 厚37mm 一般タイル下地	m <sup>2</sup>	1.0	1.0	市場単価(建築)
諸雑費	(a)~(d)の16% +端数処理	式	1.0	1.0	

(14) 給水管撤去工

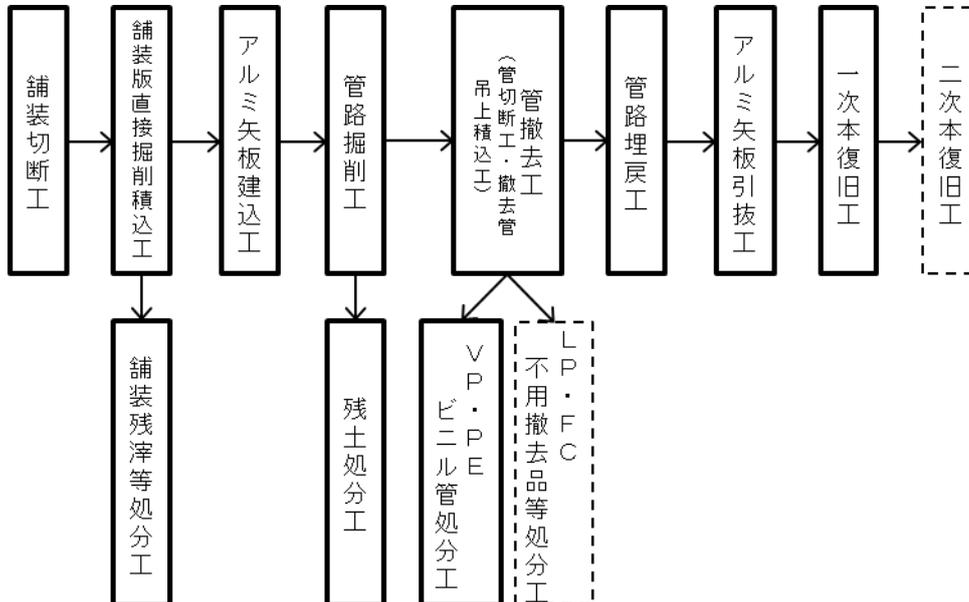
ア. 撤去管の管種及び口径区分は、下表から選択する。

管種 (記号)	口径区分	積算口径
ビニル管 (VP) ・ ポリエチレン管 (PE)	φ 40 以下	φ 25
	φ 50 以上	φ 50
鉛管 (LP)	φ 40 以下	φ 25
	φ 50 以上	φ 50
鋳鉄管 (FC)	φ 75～φ 300	φ 75～φ 300

イ. 矢板工の計上が必要となる場合は、アルミ矢板、矢板長 2.0m、支保工 1 段を標準とする。

ウ. 埋戻工は、改良土使用を標準とする。

エ. 施工フローは、下記を標準とする。



(注) ・本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。

・その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

オ. 標準数量表 (ビニル管、ポリエチレン管、鉛管・矢板なし)

(10m 当り)

工種	形質寸法	単位	数量				
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道	土工無
舗装切断工	アスファルト	m	20.00			—	—
舗装版直接掘削・積込工		m <sup>2</sup>	5.50			—	—
管路掘削工		m <sup>3</sup>	4.62	3.08	3.36	3.52	—
管路埋戻工	改良土	m <sup>3</sup>	1.87	1.98	3.08	3.52	—
残土処分工		m <sup>3</sup>	1.87	1.98	2.80	3.52	—
舗装残滓等処分工	アスファルト	m <sup>3</sup>	0.55	0.44	0.17	—	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m <sup>3</sup>	2.75	1.10	0.55	—	—
一次本復旧工		m <sup>2</sup>	5.50			—	—
給水管撤去工 (管切断・処分含む)		m	10.00				

カ. 標準数量表 (ビニル管、ポリエチレン管、鉛管・矢板あり)

(10m当り)

工種	形質寸法	単位	数量				
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道	土工無
舗装切断工	アスファルト	m	20.00			—	—
舗装版直接掘削・積込工		m <sup>2</sup>	8.50			—	—
管路掘削工		m <sup>3</sup>	11.90	12.07	12.50	12.75	—
管路埋戻工	改良土	m <sup>3</sup>	7.65	10.37	12.07	12.75	—
残土処分工		m <sup>3</sup>	7.65	10.37	11.64	12.75	—
舗装残滓等処分工	アスファルト	m <sup>3</sup>	0.85	0.68	0.26	—	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m <sup>3</sup>	4.25	1.70	0.85	—	—
矢板工 (設置・撤去)	掘削幅 B ≤ 0.9	m	20.00			—	—
一次本復旧工		m <sup>2</sup>	8.50			—	—
給水管撤去工 (管切断・処分含む)		m	10.00				

キ. 標準数量表 (鋳鉄管・矢板なし)

(10m当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	20.00			—
舗装版直接掘削・積込工		m <sup>2</sup>	5.50			—
管路掘削工		m <sup>3</sup>	4.65	3.11	3.38	3.55
管路埋戻工	改良土	m <sup>3</sup>	1.93	2.04	3.14	3.58
残土処分工		m <sup>3</sup>	1.90	2.01	2.83	3.55
舗装残滓等処分工	アスファルト	m <sup>3</sup>	0.55	0.44	0.17	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m <sup>3</sup>	2.75	1.10	0.55	—
一次本復旧工		m <sup>2</sup>	5.50			—
管撤去工 (管切断・小運搬含む)	φ 75 ~ φ 300	m	10.00			

ク. 標準数量表 (鋳鉄管・矢板あり)

(10m当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	20.00			—
舗装版直接掘削・積込工		m <sup>2</sup>	8.50			—
管路掘削工		m <sup>3</sup>	11.90	12.07	12.50	12.75
管路埋戻工	改良土	m <sup>3</sup>	7.68	10.40	12.10	12.78
残土処分工		m <sup>3</sup>	7.65	10.37	11.64	12.75
舗装残滓等処分工	アスファルト	m <sup>3</sup>	0.85	0.68	0.26	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m <sup>3</sup>	4.25	1.70	0.85	—
一次本復旧工		m <sup>2</sup>	8.50			—
矢板工 (設置・撤去)	掘削幅 B ≤ 0.9	m	20.00			—
管撤去工 (管切断・小運搬含む)	φ 75 ~ φ 300	m	10.00			

ケ. 給水管撤去工 歩掛表（ビニル管、ポリエチレン管、鉛管） (1 m当り)

工種	規格	単位	数量
硬質塩化ビニル管布設 据付工		m	0.60
硬質塩化ビニル管切断（既設管撤去）		口	0.167
ビニル管等処分工（運搬費含む）	ビニル管・ポリエチレン管のみ	m	1.00

(注) 切断数量は、6 m当り 1 箇所を標準とする。

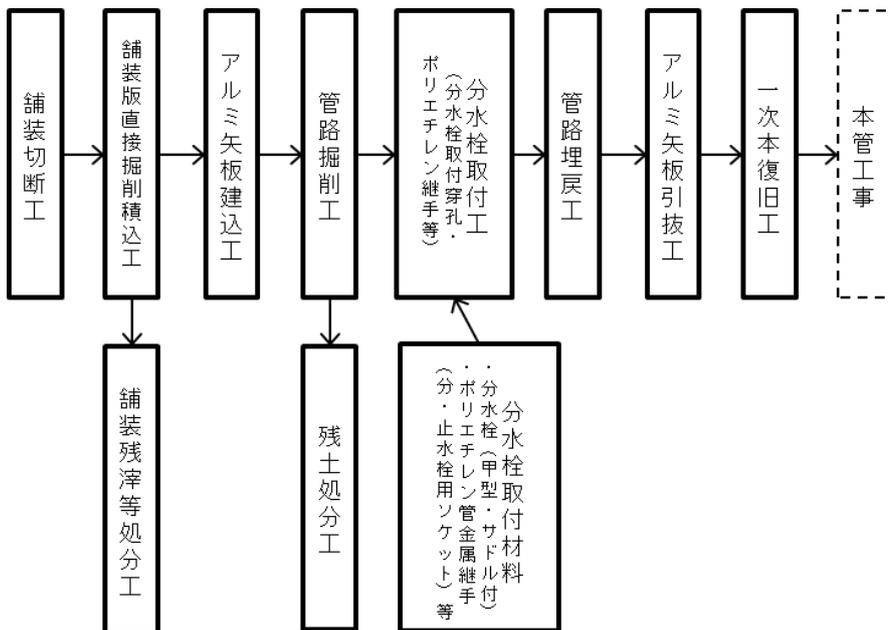
(15) 分水栓取付工、鋳鉄管用・ビニル管用サドル付分水栓取付工

ア. 甲型分水栓は「分水栓取付工」、鋳鉄管用・ビニル管用サドル付分水栓は「鋳鉄管用サドル付分水栓取付工」及び「ビニル管用サドル付分水栓取付工」にそれぞれ分類する。

イ. 矢板工の計上が必要となる場合は、アルミ矢板、矢板長 2.0m、支保工 1 段を標準とする。

ウ. 埋戻工は、改良土使用を標準とする。

エ. 施工フローは下記を標準とする。



(注) ・本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。

・その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

オ. 標準数量表（分水栓・矢板なし）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	2.45			—
舗装版直接掘削積込工		m <sup>2</sup>	0.56			—
管路掘削工		m <sup>3</sup>	0.71	0.55	0.58	0.60
管路埋戻工	改良土	m <sup>3</sup>	0.43	0.44	0.55	0.60
残土処分工		m <sup>3</sup>	0.43	0.45	0.52	0.60
舗装残滓等処分工	アスファルト	m <sup>3</sup>	0.06	0.04	0.02	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m <sup>3</sup>	0.28	0.11	0.06	—
一次本復旧工		m <sup>2</sup>	0.56			—
分水栓取付工		箇所	1			
分水栓取付材料	甲型	式	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.70			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.70			

カ. 標準数量表（分水栓・矢板あり）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	2.45			—
舗装版直接掘削積込工		m <sup>2</sup>	0.68			—
管路掘削工		m <sup>3</sup>	1.00	1.01	1.04	1.07
管路埋戻工	改良土	m <sup>3</sup>	0.66	0.87	1.01	1.07
残土処分工		m <sup>3</sup>	0.66	0.88	0.98	1.07
舗装残滓等処分工	アスファルト	m <sup>3</sup>	0.07	0.05	0.02	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m <sup>3</sup>	0.34	0.14	0.07	—
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B ≤ 0.9	m	2.45			
一次本復旧工		m <sup>2</sup>	0.68			—
分水栓取付工		箇所	1			
分水栓取付材料	甲型	式	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.85			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.85			

キ. 標準数量表 (サドル付分水栓・矢板なし)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単 位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	2.05			—
舗装版直接掘削積込工		m <sup>2</sup>	0.42			—
管路掘削工		m <sup>3</sup>	0.53	0.41	0.43	0.45
管路埋戻工	改良土	m <sup>3</sup>	0.32	0.33	0.41	0.45
残土処分工		m <sup>3</sup>	0.33	0.34	0.40	0.45
舗装残滓等処分工	アスファルト	m <sup>3</sup>	0.04	0.03	0.01	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m <sup>3</sup>	0.21	0.08	0.04	—
一次本復旧工		m <sup>2</sup>	0.42			—
分水栓取付工	鋳鉄管用／ビニル管用	箇所	1			
コア取付工	鋳鉄管用	箇所	1			
分水栓取付材料	鋳鉄管用／ビニル管用	式	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.70			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.70			

(注) ビニル管用サドル付分水栓の本管口径はφ75とする。

ク. 標準数量表 (サドル付分水栓・矢板あり)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単 位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	2.05			—
舗装版直接掘削積込工		m <sup>2</sup>	0.51			—
管路掘削工		m <sup>3</sup>	0.75	0.76	0.78	0.80
管路埋戻工	改良土	m <sup>3</sup>	0.49	0.66	0.76	0.80
残土処分工		m <sup>3</sup>	0.49	0.66	0.73	0.80
舗装残滓等処分工	アスファルト	m <sup>3</sup>	0.05	0.04	0.02	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m <sup>3</sup>	0.26	0.10	0.05	—
矢板工 (設置・撤去)	掘削幅 B ≤ 0.9	m	2.05			—
一次本復旧工		m <sup>2</sup>	0.51			—
分水栓取付工	鋳鉄管用／ビニル管用	箇所	1			
コア取付工	鋳鉄管用	箇所	1			
分水栓取付材料	鋳鉄管用／ビニル管用	式	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.85			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.85			

(注) ビニル管用サドル付分水栓の本管口径はφ75とする。

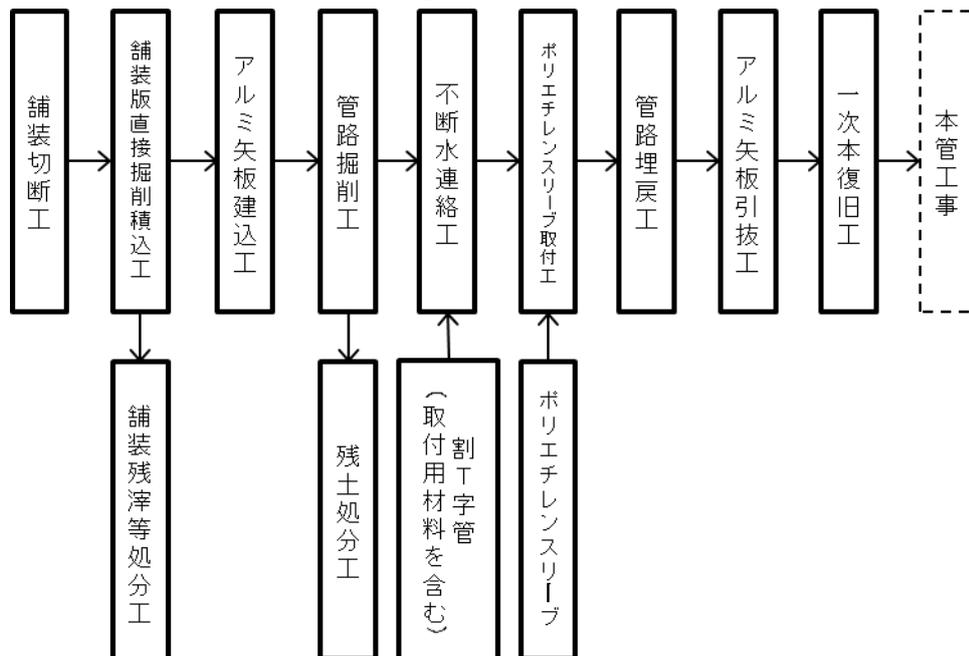
ケ. 標準材料表（分水栓取付材料）

（1箇所当り）

名称	単位	数量					
		分水栓	铸铁管用 サドル付分水栓			ビニル管用 サドル付分水栓	
			φ 25	φ 25	φ 40	φ 50	φ 25
分水栓	個	1	—	—	—	—	—
铸铁管用サドル付分水栓	個	—	1	1	1	—	—
ビニル管用サドル付分水栓	個	—	—	—	—	1	1
密着銅コア	個	—	1	1	1	—	—
ポリエチレン管用金属継手（分・止水栓用ワット）	個	1	1	1	1	1	1
残留塩素検査（DPD 試薬）	箇所	1					
給水管表示ピン	本	1					

（16）不断水連絡工（接合替）

- ア. 防食コア取付費については、割T字管取付穿孔工に含むものとする。なお、当該工事又は継続する工事の中で撤去が予定されているもので、一時的に使用する場合は防食コアの取付を省略することができる。
- イ. 矢板工の計上が必要となる場合は、アルミ矢板、矢板長 2.0m、支保工 1 段を標準とする。
- ウ. 割T字管のボルト口径は、本管口径 φ 150 以下はM16、φ 200・φ 300・φ 400 はM20を標準とする。
- エ. 埋戻工は、改良土使用を標準とする。
- オ. 施工フローは、下記を標準とする。



（注）・本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。  
 ・その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

カ. 標準数量表 (矢板なし)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	4.05			—
舗装版直接掘削・積込工		m <sup>2</sup>	1.32			—
管路掘削工		m <sup>3</sup>	1.83	1.63	1.70	1.74
管路埋戻工	改良土	m <sup>3</sup>	1.17	1.37	1.63	1.74
残土処分工		m <sup>3</sup>	1.18	1.37	1.57	1.74
舗装残滓等処分工	アスファルト	m <sup>3</sup>	0.13	0.11	0.04	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m <sup>3</sup>	0.66	0.26	0.13	—
一次本復旧工		m <sup>2</sup>	1.32			—
不断水連絡工		箇所	1			
割T字管取付材料	φ50 分岐/φ40 分岐	式	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.10			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.10			

(注) 不断水連絡工は、「Ⅱ編 第2章 第1. (11) 管連絡工」の不断水連絡歩掛表による。

キ. 標準数量表 (矢板あり)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	3.75			—
舗装版直接掘削・積込工		m <sup>2</sup>	1.32			—
管路掘削工		m <sup>3</sup>	2.27	2.29	2.36	2.40
管路埋戻工	改良土	m <sup>3</sup>	1.61	2.03	2.29	2.40
残土処分工		m <sup>3</sup>	1.61	2.03	2.23	2.40
舗装残滓等処分工	アスファルト	m <sup>3</sup>	0.13	0.11	0.04	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m <sup>3</sup>	0.66	0.26	0.13	—
矢板工 (設置・撤去)	掘削幅 B ≤ 0.9	m	3.75			—
一次本復旧工		m <sup>2</sup>	1.32			—
不断水連絡工		箇所	1			
割T字管取付材料	φ50 分岐/φ40 分岐	式	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.10			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.10			

(注) 不断水連絡工は、「Ⅱ編 第2章 第1. (11) 管連絡工」の不断水連絡歩掛表による。

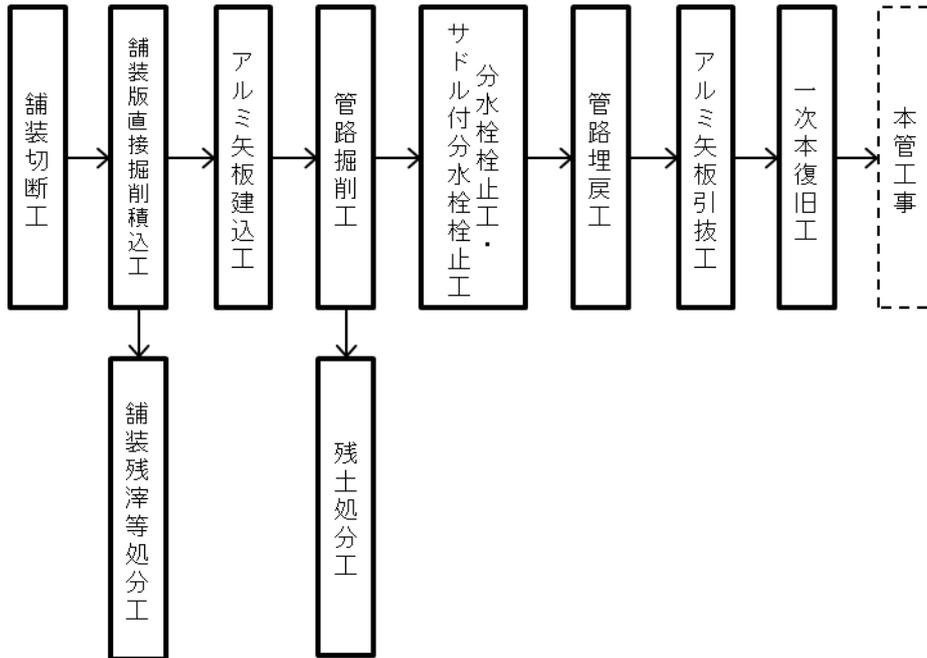
ク. 標準材料表

(1 箇所当り)

名称	単位	数量	
		φ40 分岐	φ50 分岐
割T字管 (外ネジ型)	個	1	1
防食コア	個	1	1
ポリエチレン管金属継手 (分・止水栓用ソケット1種)	個	1	1
亜鉛合金ナット M16	個	4	4
亜鉛合金ナット M20	個	9	9
残留塩素検査 (DPD 試薬)	箇所	1	
給水管表示ピン	本	1	

(17) 分水栓栓止工・サドル付分水栓栓止工

- ア. 甲型分水栓及び耐震防食型分水栓は「分水栓栓止工」、鋳鉄管用・ビニル管用サドル付分水栓は「サドル付分水栓栓止工」に分類する。
- イ. 矢板工の計上が必要となる場合は、アルミ矢板、矢板長 2.0m、支保工 1 段を標準とする。
- ウ. 埋戻工は、改良土使用を標準とする。
- エ. 施工フローは、下記を標準とする。



(注) ・本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。  
 ・その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

オ. 標準数量表 (分水栓・矢板なし)

(1箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	2.05			—
舗装版直接掘削・積込工		m <sup>2</sup>	0.42			—
管路掘削工		m <sup>3</sup>	0.44	0.32	0.34	0.35
管路埋戻工	改良土	m <sup>3</sup>	0.23	0.24	0.32	0.35
残土処分工		m <sup>3</sup>	0.23	0.24	0.30	0.35
舗装残滓等処分工	アスファルト	m <sup>3</sup>	0.04	0.03	0.01	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m <sup>3</sup>	0.21	0.08	0.04	—
一次本復旧工		m <sup>2</sup>	0.42			—
分水栓栓止工		箇所	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.70			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.70			

カ. 標準数量表 (分水栓・矢板あり)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	2.05			—
舗装版直接掘削・積込工		m <sup>2</sup>	0.51			—
管路掘削工		m <sup>3</sup>	0.71	0.72	0.75	0.77
管路埋戻工	改良土	m <sup>3</sup>	0.46	0.62	0.73	0.77
残土処分工		m <sup>3</sup>	0.46	0.63	0.70	0.77
舗装残滓等処分工	アスファルト	m <sup>3</sup>	0.05	0.04	0.02	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m <sup>3</sup>	0.26	0.10	0.05	—
矢板工 (設置・撤去)	掘削幅 B ≤ 0.9	m	2.05			
一次本復旧工		m <sup>2</sup>	0.51			—
分水栓栓止工		箇所	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.85			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.85			

キ. 標準数量表 (サドル付分水栓・矢板なし)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	1.95			—
舗装版直接掘削・積込工		m <sup>2</sup>	0.39			—
管路掘削工		m <sup>3</sup>	0.40	0.29	0.31	0.32
管路埋戻工	改良土	m <sup>3</sup>	0.21	0.22	0.29	0.32
残土処分工		m <sup>3</sup>	0.21	0.21	0.27	0.32
舗装残滓等処分工	アスファルト	m <sup>3</sup>	0.04	0.03	0.01	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m <sup>3</sup>	0.19	0.08	0.04	—
一次本復旧工		m <sup>2</sup>	0.39			—
サドル付分水栓栓止工		箇所	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.70			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.70			

ク. 標準数量表 (サドル付分水栓・矢板あり)

(1 箇所当り)

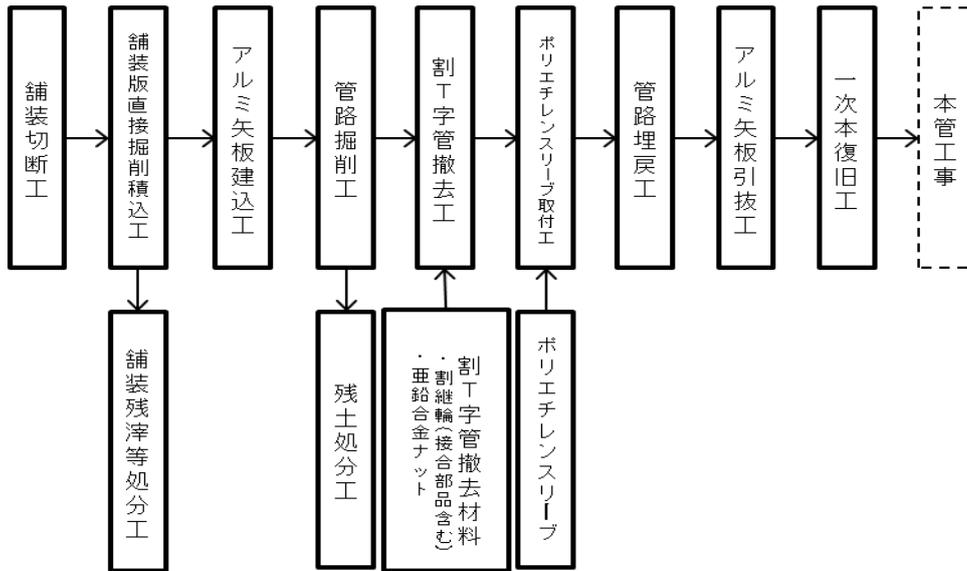
工種	形質寸法	単 位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	1.95			—
舗装版直接掘削・積込工		m <sup>2</sup>	0.47			—
管路掘削工		m <sup>3</sup>	0.65	0.66	0.69	0.70
管路埋戻工	改良土	m <sup>3</sup>	0.42	0.57	0.67	0.70
残土処分工		m <sup>3</sup>	0.42	0.57	0.64	0.70
舗装残滓等処分工	アスファルト	m <sup>3</sup>	0.05	0.04	0.01	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m <sup>3</sup>	0.23	0.09	0.05	—
矢板工 (設置・撤去)	掘削幅 B ≤ 0.9	m	1.95			
一次本復旧工		m <sup>2</sup>	0.47			—
サドル付分水栓栓止工		箇所	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.85			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.85			

ケ. 分水栓・サドル付分水栓栓止工 歩掛表 (1 箇所当り)

工種	規格	配管工 (人)
分水栓栓止工		0.07
サドル付分水栓栓止工		0.05

(18) 割T字管撤去工

- ア. 割T字管撤去工は、既設の割T字管を撤去し、割継輪を設置する工事に適用する。
- イ. 矢板工の計上が必要となる場合は、アルミ矢板、矢板長 2.0m、支保工 1 段を標準とする。
- ウ. 標準材料として、割継輪（接合部品含む）及び亜鉛合金ナットを含むものとする。
- エ. 埋戻工は、改良土使用を標準とする。
- オ. 施工フローは、下記を標準とする。



(注)・本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。  
 ・その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

カ. 標準数量表 (矢板なし)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	4.05			—
舗装版直接掘削・積込工		m <sup>2</sup>	1.32			—
管路掘削工		m <sup>3</sup>	1.78	1.41	1.48	1.52
管路埋戻工	改良土	m <sup>3</sup>	1.12	1.15	1.41	1.52
残土処分工		m <sup>3</sup>	1.12	1.15	1.35	1.52
舗装残滓等処分工	アスファルト	m <sup>3</sup>	0.13	0.11	0.04	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m <sup>3</sup>	0.66	0.26	0.13	—
一次本復旧工		m <sup>2</sup>	1.32			—
割T字管撤去工 (材工共)		箇所	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.20			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.20			